2020年度 臨地看護学実習の実施状況について (まとめ)

実習名	時期	実習 期間	実施状況
看護初期実習	前期	1週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
基礎看護学臨地実習 I	後期	1週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:臨地実習日数を3日間から2日間に、臨地実習時間を全日から半日 に短縮した。残りの学習はオンラインと少人数制による学内技術演習で実 施した。
基礎看護学臨地実習II	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
成人看護学臨地実習 I	後期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:臨地実習日数を15日間から7日間に、臨地実習時間を全日から半 日に短縮した。残りの学習はオンラインと少人数制による学内技術演習で 実施した。
老年看護学臨地実習 I	前期	1週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
成人看護学臨地実習II	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
在宅看護学臨地実習	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
精神看護学臨地実習	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
小児看護学臨地実習	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
母性看護学臨地実習	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
老年看護学臨地実習II	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
公衆衛生看護学臨地実習 I (選択制29名)	前期	- 7週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
公衆衛生看護学臨地実習 II (選択制29名)	前期		臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
ヘルスケア マネジメント実習	後期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:臨地実習時間を全日から半日に短縮した。残りの学習はオンラインで実施するとともに、自己学修課題を課した。
助産学実習 I	前期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:事例の受け持ち期間を「妊娠期から産褥5日間+1ヶ月健診」から 「入院時から分娩、産褥5日間+1ヶ月健診」に短縮した。残りの学習はオ ンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
助産学実習 II	前期	3週間	臨地実習を実施した。感染拡大に伴い、分娩介助件数は4~5例にとどまったため、オンラインと少人数制による学内技術演習を追加した。
助産学実習Ⅲ	前期	3週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
助産学実習IV	後期	2週間	実習期間中に感染が急拡大したことに伴い、臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:①ハイリスク妊婦、②ハイリスク新生児の受け持ちを中止し、学 内実習とした。③助産所実習は期間を短縮、④地域母子保健実習(別海 町)は中止し、オンラインと少人数制による学内技術演習を追加した。
助産学実習V	後期	1週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点:臨地実習日数を4日間から2日間に、臨地実習時間を全日から半日 に短縮した。残りの時間はオンラインと学内技術演習で実施した。
	看護初期実習 I 基礎看護学臨地実習 I 基礎看護学臨地実習 I	看護初期実習 前期 基礎看護学臨地実習 I 後期 基礎看護学臨地実習 I 前期 成人看護学臨地実習 I 前期 成人看護学臨地実習 I 前期 在宅看護学臨地実習 I 前期 有護学臨地実習 所期 行人看護学臨地実習 後期 と年看護学臨地実習 後期 と年看護学臨地実習 I 後期 と年看護学臨地実習 I 前期 と年看護学臨地実習 I 前期 を主看護学臨地実習 I 前期 を主看護学臨地実習 I 前期 かかなから、選択制29名) が期 かかなから、アママネジメント実習	実習名 時期 期間 看護初期実習 前期 1週間 基礎看護学臨地実習 I 前期 2週間 成人看護学臨地実習 I 前期 2週間 成人看護学臨地実習 I 前期 2週間 成人看護学臨地実習 I 前期 2週間 村神看護学臨地実習 I 後期 2週間 少児看護学臨地実習 I 後期 2週間 老年看護学臨地実習 I 後期 2週間 公衆衛生看護学臨地実習 II 前期 7週間 (選択制29名) 6期 3週間 へルスケアマネジメント実習 後期 3週間 助産学実習 I 前期 3週間 助産学実習 II 前期 3週間

- 注1) オンラインによる学内実習は、各看護学臨地実習の目的・到達目標に適した紙上事例、映像事例、ナーシングスキル DVD、ゲストスピーカー等の組み合わせにより構成した。変更に関するガイダンスを事前に行った。
- 注2) 少人数制による学内技術演習は、生体シミュレータ等を活用した。
- 注3) 助産学実習の実施前に、学生及び実習担当教員はPCR検査を受検した。